



**小島 智恵**  
議員  
(拓政会)

**問**

わが町は百年記念ホールやパークゴルフ場等々、多くの公共施設を有する。帯広市ではス皮ードスケート場の命名権が売却され「明治北海道十勝オーバル」の名称を使用し年間1千万円の自主財源を確保してきた。財政状況が厳しい中、わが町でも取り組めないのか、以下伺う。

- (1) 公共施設数、利用率の高い施設、管理状況、今後について。
- (2) 施設命名権に取り組む考えは。

**町長**

(1) 左表の計126施設。そのうち利用率の高い施設は、1年間の総利用者数では、百年記念ホール、続いて札内スポーツセンター

社会教育施設	公民館(4)、まなびや(2)、図書館(3)、百年記念ホール、マンウ化こまは	ホール(2)、ナ文施設、忠類、蝦夷、研究施設計14施設
社会体育施設	体育館(3)、陸上競技場、パークゴルフ場、スキー場	プール(6)、野球場(2)、ハウスの計15施設
都市公園等	依田公園、ゴルフコース	野球場やパークゴルフコースなど含む計97カ所

**問** 施設命名権（ネーミングライツ）の取り組みを  
**答** 他の自治体の事例を注視するとともに、導入可能性について研究していきたい

で、1日当たりの利用者数では、白銀台スキー場が1日当たり1590人、続いてちろつとの森パークゴルフコースである。

管理状況は、指定管理者制度を導入している百年記念ホールのほかは、清掃や受付などの業務の一部を委託して町が管理しており、今後制度の導入に至るまでの間は、引き続き現在同様の管理を続けていきたくと考えている。



百年記念ホール (25年度の年間総利用者数 10万7520人)

(2) 施設命名権は、自治体にとって、安定的な財源が確保され、運営費や修繕費への充当により、持続可能な施設の運営が可能になるが、愛称を使用することにより施設の所

**問** みずほ通りは大量の落葉あり、改善を  
**答** 緑の価値を地域の方と話し合い共有していきたい

在地や機能がわかりづらくなることとの懸念や本町の公共施設がその対象たり得るのかといった現状把握も必要と考えている。

**問**

広島県などで樹木や枝が折れ負傷するとの報道があり、わが町も安全管理が求められる。植樹ますの雑草や落葉の清掃は高齢化に伴い、大変厳しい公区もある。町内の環境整備全般について以下伺う。

- (1) 樹木の点検、樹齢が古い木の把握や剪定等の管理状況。植樹ますや樹木の維持管理は。
- (2) 落葉が雨水ますを詰まらせ浸水被害が想定されるが雨水ますの管理状況は。
- (3) 公区や公営住宅、教育現場での環境整備の取り組みや支援について。

**町長**

(1) 通行に支障のあるものや

危険な樹木など、定期的な道路パトロールの中で枝払いや伐採を、植樹ますや樹木の管理については、年2回の草刈りと必要に応じて樹木の剪定作業などを実施している。

- (2) 道路パトロールや降雨時などの状況を把握し、支障のある箇所には適宜清掃や土砂の撤去をしている。
- (3) 町では、公区の環境美化活動(道路の植樹ますや近隣センターなどの花壇への植栽、公園などの芝刈りや清掃)に対して支援している。

公営住宅の緑地の草刈りなどは入居者負担として、入居の際に説明している。各学校では児童会、生徒会主催による清掃活動のほか、PTAによる環境整備活動などが行われており、学校管理費交付金など、町の予算で対応している。

**再質問**

(1) 混乱を招かないよう施設名を残す方法やパークゴルフ場で取り組む考えは。

- (2) みずほ通りは、清掃や剪定等を道に強く要請しているか。ゴミ袋の支援や生徒の協力を得て清掃する考えは。

**答** (1) いろんな課題があり、協議、検討していかねばならない。

(2) 春先の粉じんなどの作業は行っているとのこと。落ち葉などのゴミ袋を希望により支給している。生徒の協力は学校に任せられた部分である。